

# 日本小児耳鼻咽喉科研究会運営委員会議事録

日 時：平成13年10月2日（火）

場 所：臨床アレルギー研究所（東京・新橋）

出席者：古賀（運営委員長）、新井、飯野、市村（第45回会長）、石川、大迫、川城、佐々木、鈴木、土橋、中川、西村、早川、福永、望月、吉田、（50音順、敬称略）

## 【議題】

### 1. 第45回大会の件（H13.12.1）

市村恵一会長（自治医大耳鼻科）より、次回の大会についての説明があった。テーマは「日常診療における小児頭頸部の画像診断」。プログラムにかわって、抄録集を会員全員に送付する。

今後の研究会で抄録集を作ること、あるいは、それを送付することを定例のこととするかどうかは今後の検討課題とした。

英文抄録についてはIJPOへの投稿を考えて、英文の校正をどのようにするかを今後検討する。

### 2. 第46回大会の件（H14.7.6）

西村忠郎会長（藤田保健衛生大第2病院耳鼻科）より、会期は平成14年7月6日、薬業年金会館（大阪：谷町6丁目）にて開催。テーマは「呼吸障害といびき」の予定。

### 3. 第47回大会の件（H.14.12.7）

望月先生（森川昭廣会長代理）より、テーマは気道の炎症を考える内容にしたということで考慮中との報告があった。

### 4. 庶務報告

鈴木庶務担当委員から以下の報告があった。

- 1) 日本学術会議よりアンケートがあった。
- 2) 文部科学省の研究振興の助成についてと、研究会の番号について通達があった。

### 5. 会計について

川城会計担当委員から、平成13年度収支と14年度予算についての報告があった。会場費や運営委員会費の節減の必要性や、ホームページ作製費用が新たに計上されたこと、英文校正のための費用の追加などが報告された。

## 6. 会誌編集について

飯野会誌編集委員より、順調にすすんでいる旨報告があった。

## 7. その他

1) 古賀運営委員長よりホームページについて、一般の方から相談が入ったことがあったこと、また内容については次回のプログラムの内容について可能な範囲で掲載すると報告された。

2) 古賀運営委員長より、役員の改選についてご意見を寄せていただきたいと話があった。

3) JAPAN CONVENTION BUREAUからの連絡で本年11月PROF. FIORが来日することだが、その真偽のほどを確かめることになった。（翌日のPROF. FIORからのE-MAILで来日しないことが確認された、注参照。）将来の日本での国際会議の開催の意義について討論された。

4) 48回と49回の会長について討議し、次回決定が望ましいとされた。

### 注) Fior教授の返事

In reply to your message, I have to put things right: the Japanese convention bureau asked me some time ago, if we would consider to hold a meeting in Japan and I answered that this might to be discussed in the future (not before Oxford next year and only after hearing from you) and that a site visit would be useful. In any cases, no such visit is advisable now, considering the recent tragic events. I think we have plenty of time to evaluate all this and we obviously remain in contact.

All the best, yours very sincerely

Renato Fior

日本小児耳鼻咽喉科研究会

運営委員長 古賀慶次郎

庶務担当 鈴木淳一

文責 佐々木祐佳子